

## V. 施設の利用方法

### [1] 施設利用についてのお願い

- 節電・節水にご協力ください。沢から水を汲み上げているため、使いすぎると水が出なくなる可能性があります。
- みんなで使う施設です。清掃・整理整頓を行い、次の人が気持ちよく使えるようにしましょう。
- 建物や備品を汚損・破損・紛失した場合には、速やかに事務室までご連絡ください。故意または不注意による場合には、実費弁償していただく場合があります。
- 貴重品の管理は各団体で責任をもってお願いします。事務室及び各宿泊棟入口に、リターン式コインロッカーを設置しています。

### [2] 宿泊室の利用

#### ① 各棟の宿泊人数

棟名	宿泊室	リーダー室	最大宿泊人数	やすらぎの部屋
さかな	6人部屋 8室	4人部屋 2室	56	「やすらぎの部屋」には 寝具を配置していません。
きのこ	8人部屋 6室	// 3室	60	
はな	// 6室	// 1室	52	
むし	// 6室	// 2室	56	
とり	// 6室	// 1室	52	
そら	// 8室	6人部屋 1室	70	
もり				現在、運用休止中です。
ほし				

- 害虫発生の原因になるため、宿泊室での飲食はご遠慮ください(お茶・水等の水分補給は可)。
- さかな棟はバリアフリー棟です。
- 各棟・各部屋の鍵を貸し出しできます。
- 各棟のリーダー室に冷蔵庫を配置しています。薬や氷、水分補給用の飲み物の保管にご活用ください。
- 持参のドライヤーをお使いになる時は、各宿泊棟2台、掃除機は各階2台までお願いします。
- 宿泊室の配置や名称は、HP の「資料ダウンロード」にある【宿泊棟別(部屋別)記入表】にてご覧いただけます。

#### ② 清掃の方法

##### 【宿泊室・廊下・階段】

- 掃除機やほうきで清掃してください。清掃用具が足りない場合は、ご持参のぞうきんで掃除をしてください。
- ベッドの下のごみやほこり、忘れものの確認をお願いします。
- 掃除機のごみパックは職員が交換しますので、取り出さないでください。
- 宿泊室内にごみ箱はございません。各団体でごみの処理をお願いいたします。
- 清掃後は換気のために窓を開けておいてください。

【動画】宿泊棟清掃と退所点検のチェックポイント



### [3]寝具の利用

#### ① シーツ

- 衛生管理のため、必ずお使いください。同じシーツを連続して使用するのは3泊までとし、4泊以上の場合はシーツ交換が必要になります。
- リネン室に団体毎に分けて用意します。各自お取りください。
- シーツとシーツのあいだに入って、身体が寝具に触れない状態で休みます。

#### ② ベッドメーキング

- シーツをベッドパッドの上に敷く
- シーツの上にもう1枚シーツを敷く
- 毛布・掛け布団をのせる
- 上側のシーツの首もとを折り返す
- 枕を枕カバーに入れる ※当所の枕には、そば殻は使用しておりません。



- 上から  
①掛け布団  
②毛布  
③シーツ  
**ここに入ります**  
④シーツ  
⑤ベッドパッド  
⑥マットレス

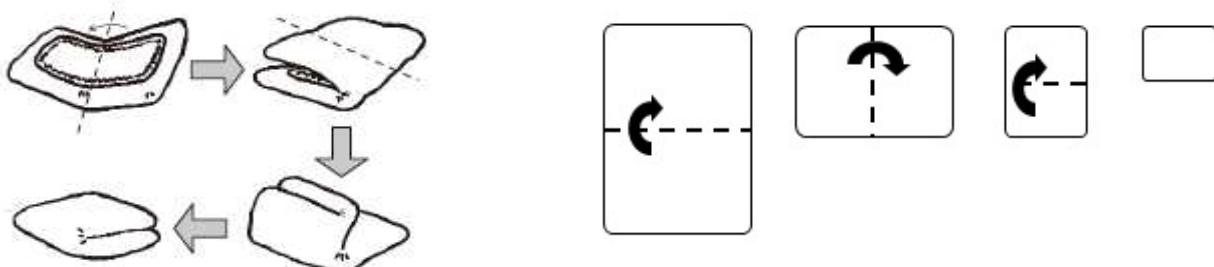
#### ③ 寝具の片付け

##### 【シーツ・枕カバー】

リネン室にある回収袋に返却してください。シーツをたたむ必要はありません。回収袋がいっぱいになったら、口を縛り、新しい袋をセットしてください。

##### 【掛け布団・毛布】

掛け布団は2回、毛布は3回長い方をたたみます。



たたんだ寝具は、次の人が使いやすいように、それぞれ折り目が手前から見えるように置きます。

宿泊室内の説明も参考にしてください。



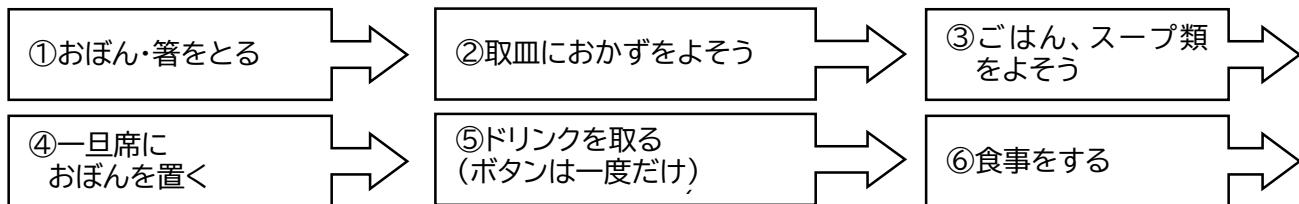
【動画】寝具・リネンの使用 & 整頓方法について



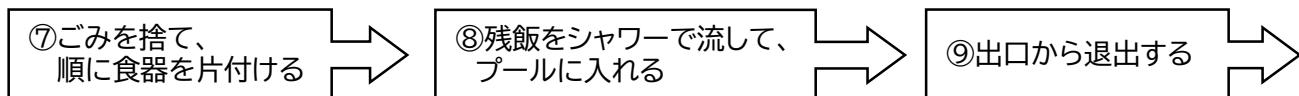
#### [4] 食堂(レストラン曾爾高原)の利用

- 入り口で手洗いをお願いします。手を拭くためのハンカチやタオルを各自ご持参ください。
- 食事の提供はセルフ形式です。食育を考慮しバランスよく食べましょう。なお、人数が 100 名以下は 1 レーン、30 人以下はカウンター、10 人以下の場合は盛付で提供します。
- 各自分で料理をお取りいただくか、引率者等で取り分け担当を決めて盛り付けてください。食べきれる量を盛るようにしてください。
- 利用時間は活動や利用人数に応じて自然の家が調整します。1団体につき30分～45分程度です。**順次、テーブルごとに食べ始めるようにお願いします。**全員揃ってから食事を開始すると時間がかかり、次に利用する団体が入れなくなります。

<食事配膳の流れ>(右図参照)



<片付け方法>



<注意>

- 荷物は持ち込まないようお願いします。
- すべりやすいので、食堂内は走らないようにしましょう。
- 座席は前方から順にお座りください。
- 混雑防止のため、食後の打合せや連絡等は行わないでください。
- 大きな声での会話・事務連絡等は、お控えください。
- 食べ終わったテーブルから、ごちそうさまをして片付けてください。

【動画】レストランのご利用方法



<給茶コーナーの利用について>

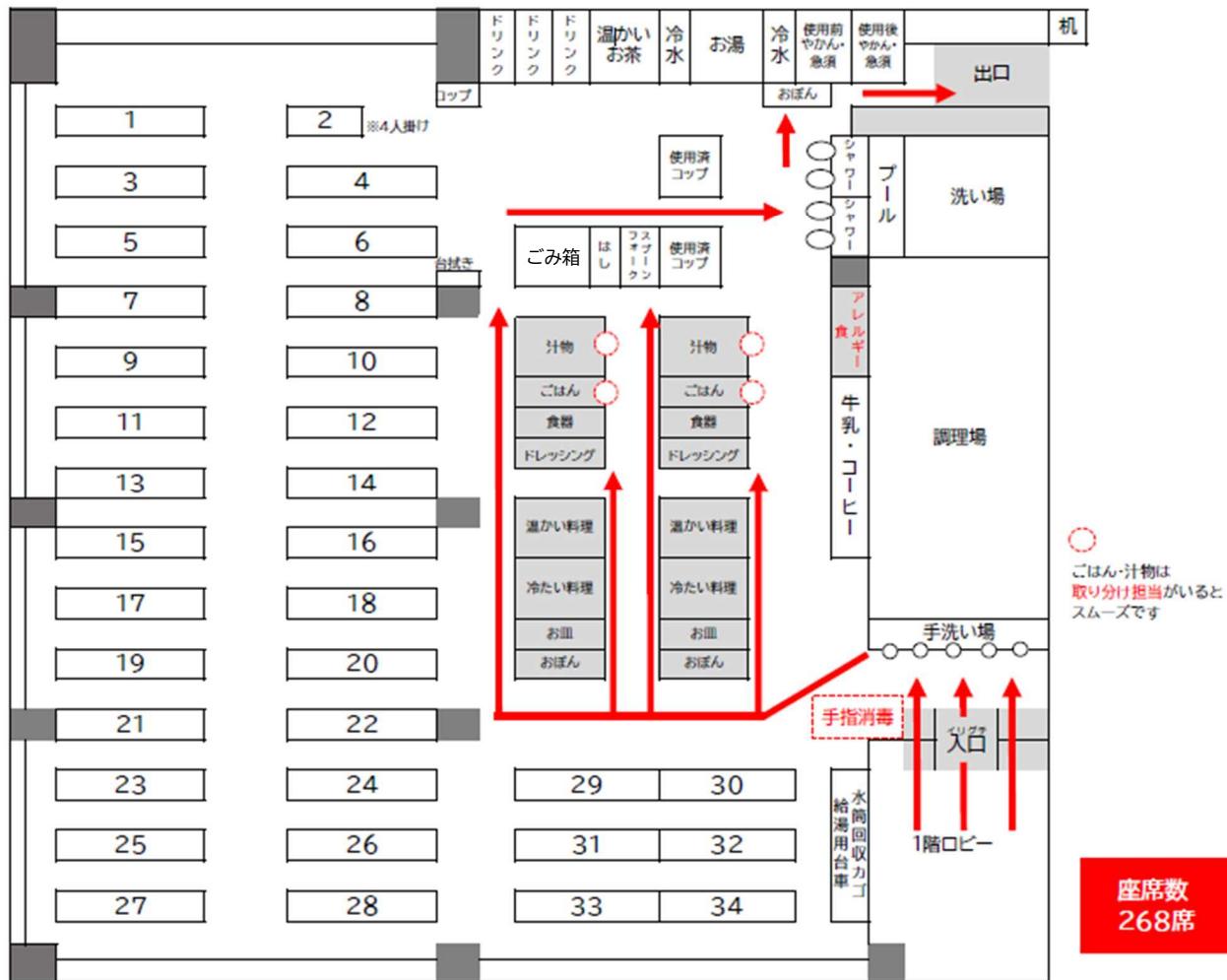
- 熱いお茶の提供です。給茶を希望される場合は、事前に食堂スタッフにお知らせください。
- 衛生管理のため、設置のやかんは食堂外へ持ち出さないでください。持出用のやかんは事務室にあります。
- 引率者が補充する場合は、入口で水筒をまとめ、子どもたちの食事中に補充してください。食堂出口奥の机で受け渡しをしてください。



スムーズな食堂の利用にご協力をお願いいたします。



## 食堂(レストラン曾爾高原)の見取図



## [5] 浴室の利用

大浴室は男・女それぞれ一度に60名が利用できます。(シャワー数各10、カラン数各7)

- **原則、団体ごとに時間を割り振ります。**利用時間は活動や利用人数に応じて自然の家が調整します。
- 夏期(3月~11月)のみ、指導者の方向けに 21:30 から 23:00 まで大浴室を開錠します。シャワーのご利用が可能です。日曜日は浴室消毒のため、小浴室等のシャワーを使用いただきます。
- 特別な事情により大浴室が利用できない場合は、小浴室のシャワーが利用できます。小浴室にお湯はりを希望される場合は事前打合せでご相談ください。
- 利用当日の宿泊人数が50人以下の場合、男女どちらか片方の大浴室を交代で使用いただきます。宿泊人数が10人以下の場合、小浴室での入浴となります。
- 洗面用具・タオル・ドライヤー等は置いていません。各自でご用意ください。  
【動画】お風呂のご利用について [\[動画リンク\]](#)
- ボディソープ・シャンプーは設置しています。
- 浴室内は濡れてすべりやすいので、転倒に十分注意してください。
- マナーを守って入浴しましょう。
  - ・かかり湯をして体を洗ってから浴槽に入る
  - ・使った洗い桶・椅子は整理整頓する
  - ・タオルを浴槽のお湯につけない
  - ・足、身体をよくふいてから脱衣室へ出る



## [6] ごみの処理

ごみは原則持ち帰りです。持参した弁当箱など、自然の家でごみを捨てたい場合は、必ず売店で曾爾村指定のごみ袋を購入してください。捨てる際は、ペットボトルをつぶす等出来るだけ小さくしてください。SDGsの観点から、ごみはできる限り減らしましょう。

ごみの種類	袋・容器	回収場所
燃えるごみ（紙くず・プラスチック・トイレの汚物・弁当の空き箱・残飯・ペットボトルなど）	燃えるごみ用の袋	燃えるごみ倉庫
ビン	ビン用ごみ袋	ビン・缶ごみ倉庫
缶	缶用ごみ袋	
段ボール	持込：持ち帰り 食堂から受け取ったもの：食堂に返却	

## [7] 施設内での飲酒について

飲酒については必ず事前打合せの際にご相談ください。また、下記ご協力をお願ひいたします。

- 飲酒は決められた時間内、指定場所でお願いいたします。
- 食堂と宿泊棟での飲酒はできません。
- 周囲の方へのご配慮や、節度あるマナーを守った飲酒をお願いいたします。

## [8] 活動場所の利用

- 各研修室の鍵の貸し出しは事務室までお声がけください。
- 退室時に備え付けの用具で清掃し、消灯してください。

### 【エコロジーホール・クラフトホール・なかよしホール】

- ホール内は上履きで活動してください。
- 施錠してありますので、事前に事務室で鍵を受け取り、開錠してください。

### 【野外炊飯場・屋根付野外炊飯場】

- 指導者は、入所後、事前に使い方の説明を受け、準備・片付けの方法と貸し出し物品を確認してください。

### 【キャンプファイア場】

- 各広場に設置されているファイア一台の上、または耐火レンガの上で燃やしてください。
- 薪はすべて燃やしきってください。残炭は、各ファイア場の残炭入れに集めて入れてください。
- ファイア一台や耐火レンガには絶対に水をかけないでください。割れるおそれがあり危険です。
- 消火用バケツ、ほうき、ちりとり等は利用者玄関横の清掃用具ロッカーの物をお使いください。
- 清掃は翌朝でもかまいませんが、午前の活動の前(9:00前)までに済ませてください。

（つどいの広場の清掃は、朝のつどいの前(7:00前)までに済ませてください。）

【動画】キャンプファイア場の利用について



※ 奈良県広域消防組合火災予防条例(令和8年1月1日施行)により、林野火災警報・注意報が発令された場合、キャンプファイアを中止しキャンドルファイア等に変更していただく場合がありますのでご理解ください。

## 【キャンプ場】

- キャンプ場の利用については、利用団体の自主的な運営を基本としていますので、生活時間や活動内容は団体ごとに決めてください。
- 職員と事前打合せを行ってください。また、キャンプ場施設(水場・かまど・テントサイト・トイレの場所など)の事前調査、実地踏査を行ってください。
- テント・寝袋・炊事道具など毎日使用するものは、滞在中は団体で管理し、退所日に返却してください。
- キャンプ場は全面禁煙としておりますので、ご了解ください。
- 貴重品は団体で保管してください。事務室や管理棟のリターン式コインロッカーをご利用いただけます。
- 大浴室の利用も可能です。他団体との利用時間を調整します。

### ① テント・寝袋の使用について

- テントの周りに溝を掘らないでください。
- 貸出を希望される場合は事前にご相談ください。

#### 貸出用テント

##### 設営時

- ・必要に応じて、管理棟下の「すのこ」をお使いください。
- ・ペグやハンマーなどの紛失にご留意ください。

##### 撤営時

- ・テント本体・ペグは汚れを落としてください。
- ・撤収前に裏返しておくなどして、できる限り乾かしてからたたんでください。
- ・用具の数量確認を行い、職員の点検を受けてから返却してください。
- ・退所日が雨の場合は、テントの片づけ方について職員の指示に従ってください。

#### 寝袋の貸出

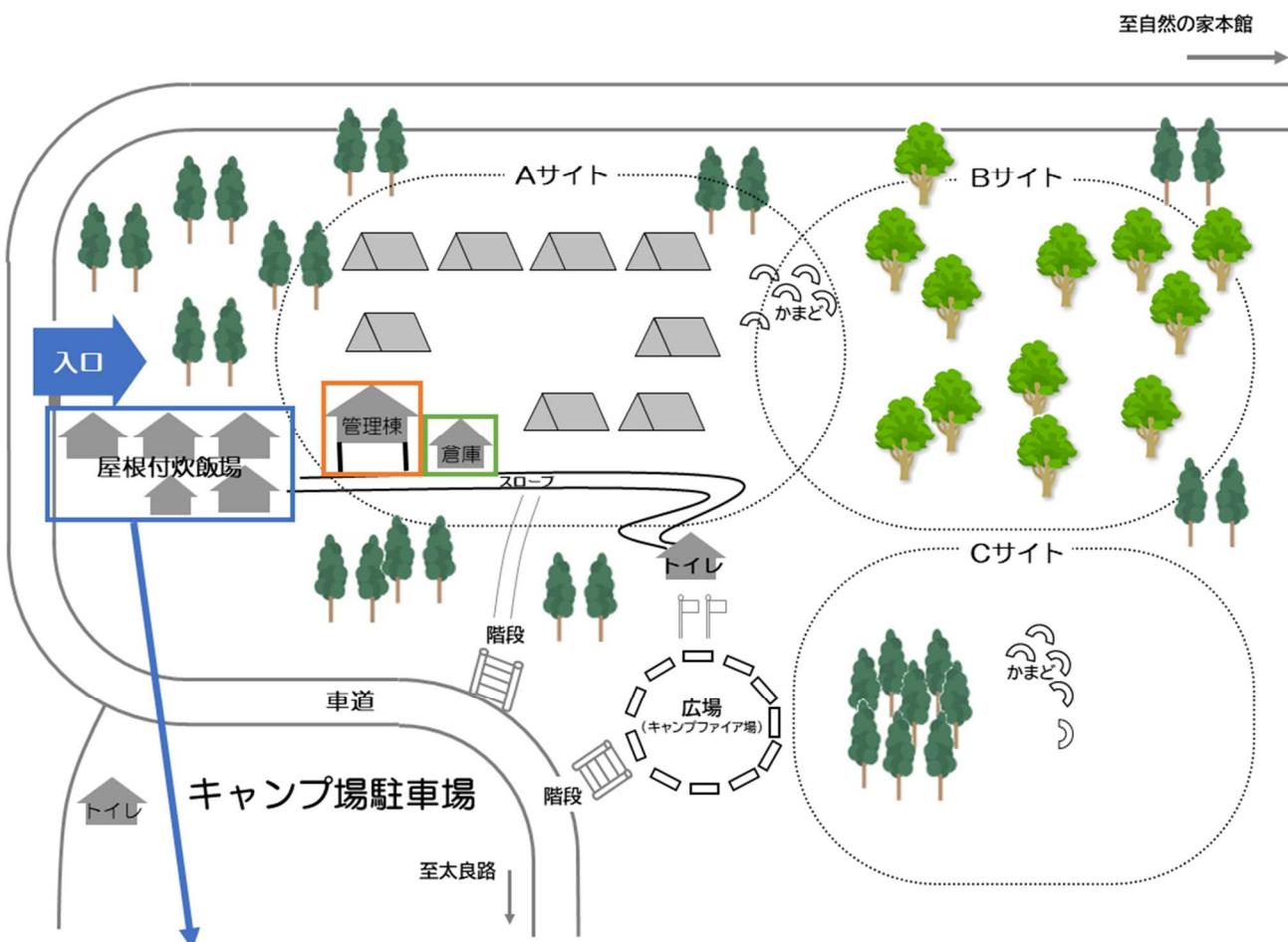
- ・ご希望の場合は、人数分の貸出が可能です。
- ・雨に濡らさないよう注意してください。
- ・寝袋用シーツ(筒形)を使用してください。本館リンネン室に用意します。退所日にご返却ください。



### ② 炊事について

- 晴雨にかかわらず原則として自炊です。また、食中毒防止のため**食材の持ち込みはご遠慮ください**。
- 野外炊事の食材は所定の場所で受け取ってください。受け取り時間について、当日受付後に食堂と相談してください。朝食:6時30分、昼食:9時30分、夕食:14時には用意ができます。
- **キャンプ場倉庫**内に冷蔵庫が2台あります。その他必要に応じてクーラーボックスや氷を準備し、食材は団体で責任をもって保管をお願いします。
- 炊事は必ず所定のかまどで行ってください。かまど付近には緊急消火用の水を必ず配置してください。
- かまどやファイアーエリア以外は**火気厳禁**です。なお、花火は禁止しております。
- 食器用洗剤・磨き粉はキャンプ場で用意しています。
- 薪は**キャンプ場管理棟**下にあります。使った分の針金を保管していただき、売店にて精算してください。なお、持ち込みも可能です。

## 国立曾爾青少年自然の家 キャンプ場配置図



### <屋根付野外炊飯場>

